

令和元年度  
第3号  
**PTAはこだて**

第 128 号

発行日 令和2年3月13日  
編集 函館市PTA連合会広報委員会  
発行者 函館市PTA連合会  
会長 干山 毅  
印刷者 (有)三和印刷



PTA会員の皆様におかれましては日頃より各単位PTA活動にご尽力され、また函館市PTA連合会の活動にご理解ご協力いただいておりますこと感謝致します。

さて、令和初の新年を迎え今年度も残すところ僅かとなりました。昨年は平成31年と令和元年が入り混じる珍しい年でしたが、皆様はどのような出来事が印象に残っているでしょうか。

私が昨年最も注目したのがラグビーワールドカップが日本で初めて開催され、日本代表が初のベスト8入りという快挙に沸いた事でした。数年前までは日本ラグビーは世界レベルからは程遠く、ワールドカップを含む国際大会においては白星配給係的な位置づけであった事は否めません。しかし、代表選手は誇りを忘れず諦めることなく邁進し4年前の前回大会では史上最大の大番狂わせとまで言われた南アフリカに勝利。さらに今大会は「ワンチーム」というチームスローガンのもと、まさに大躍進を遂げたのです。さて、ラグビー日本代表の大躍進はどの様に生まれたのか。技術・体力のレベルアップはもちろんですが、注目すべき点は、長期合宿における選手間の信頼と絆、チームを信じる力が特に秀でたのでは無いかと思います。代表選手それぞれが「我々は家族」と口にする様に信じ合える心もたらした結果なのだと思います。それが「One for all, All for one」の精神ですね。

実はOne for all, All for oneという言葉、「一人はみんなの為に、みんなは一人の為に」と捉えている方も多くありますが、本当の意味は若干ニュアンスが違ってくるので。

本当の意味は「一人はみんなの為に、みんなは一つの目的の為に」なんだそうです。

ラグビーで言う目的はトライを取ることで、これはPTAに置き換えても意味が通じます。PTAの目的とは何か？それは子どもたちが安心・安全で楽しい学校生活を送れるよう手

助けすることだと思えます。そして家庭を通して健康で健全な生活を送ってもらいたい、この事に尽きると思えます。皆様で今一度PTAの目的を共有し子どもたちの為により良い活動をしていきましょう。

さて、2020年が幕を閉じました。今年度は日本では2回目となる夏季オリンピック・パラリンピックが開催され、7月から東京を中心に日本各地で競技が行われます。オリンピックの花形競技でありますマラソンは北海道・札幌市での開催が決定しました。全ての競技に懸命に取り組んでいる選手を全力で応援し、皆様とともに素晴らしいオリンピックにしたいですね。

そして同年10月3日・4日、日本PTA北海道ブロック研究大会を全道PTA会員800名を招いて函館市にて開催致します。10月3日は午後から函館アリーナと函館市民会館、函館市内各所を会場に6分科会に分かれて学びを、同日夜は函館市が誇る老舗レストラン五島軒を会場に大懇親会を開催し懇親交流を図ります。翌4日は午前から函館市民会館大ホールにて全体会を開催します。基調講演にはラッキーピエログループの創業者である王一郎会長より講演いただきます。王会長が想う故郷函館の魅力や親子二人三脚で会社を運営してきた経験からの親子のあり方、これからの子育てと街を育てる心のあり方等、経営者としての話よりも、親として、市民としてのお話が聴ける貴重な時間です。多くの方にご参加いただきたいと思っております。さらには両日とも運営のお手伝い等もお願いする事になります。どうか皆様のお力を貸していただき全道に函館大会の思いが届くような大会にしたいと考えています。どうかよろしくお願ひします。

結びになりますが、PTA会員の皆様にとつてこれからの活動のご発展とご健勝、子どもたちの健やかな成長を願ひまして巻頭のご挨拶と致します。



『One for all,  
All for one』

函館市PTA連合会  
会長 干山 毅

### 厚生委員会活動報告

厚生委員会 委員長 函館市立大森浜小学校 P T A会長 小林庸一  
 厚生委員会 事務局長 函館市立大森浜小学校 校長 紺野克典

### 市P連「新年交礼会」から

一月十日(金)、函館P T A連合会新年交礼会を開催させていただきました。今年度もベルクラシックを会場とさせていただきます。会場とのやりとりは八月から始まり、様々な確認と準備を進めて参りました。昨年と同様に会場の広さを考慮して各校の参加数を三〇八名で設定させていただきました。

例年、参加人数の調整が課題のようでしたが、昨年度から、統合した学校もあったため、参加人数の調整に戸惑うことなく準備を進めることができました。各単Pからの申込みは、昨年度よりも少なくなりましたが、その分、例年以上に懇親を深めることができました。市内小学校四十四校、中学校十八校から三百四十二名の参加者に加え、函館市長 工藤壽樹様、函館市教育委員会 教育長 辻俊行様、同教育委員 藤井壽夫様、同学校教育部長 松田賢治様をはじめ市P連歴代会長・事務局長の皆様のご臨席を賜り、総勢三百五十一名による盛大な新年交礼会となりました。小林厚生委員長の開会の言葉に続き、干山毅会長の挨拶ではP T A活動「実践・学び・懇親、交流」について話されました。次に、単Pの団体表彰と市P連を支えていただいた元役員の方々に表彰状・感謝状の贈呈を行いました。また、優良P T A文部科学大臣表彰の賞状の伝達も行われました。

受賞者を代表いたしまして、前中部小学校P T A 相馬礼子様、謝辞を述べられました。引き続き、函館市長 工藤壽樹様にご祝辞をいただきました。

教育長 辻俊行様のご発声で開宴しました。和やかな雰囲気の中、それぞれ交流の輪が広がっていました。途中、令和2年度に函館で開催される全道P T A研究大会で歌う「P T Aの



歌」を全員で歌い、干山会長が改めて全道P T A研修大会函館大会について話されました。宴の最後には、参加者全員による「はこだて賛歌」の大合唱がありました。

その後、函館市P T A連合会O B会 若杉充宏様によるお開きの乾杯で、宴の幕を閉じました。

短い時間でしたが、参加された方々のたくさん笑顔が見られ、温かい雰囲気の会となりましたことに、紙面をお借りしまして、皆様にお礼申し上げます。

### 調査委員会活動報告

### 教育予算要望懇談会より

調査委員会 委員長 函館市立桔梗小学校 P T A会長 館山大樹  
 調査委員会 事務局長 函館市立桔梗小学校校長 佐々木正幸

今年度の調査委員会は、第4ブロックの桔梗小学校が中心となり、事業の推進を図ってきました。

各学校のP T Aより、令和2年度の教育予算に関する要望を提出いただき、昨年度の要望と比較調整しながらまとめました。

市P連の事務局と協力しながら、教育長との懇談の機会をもち、教育予算要望についてお願いすることができました。

業務推進の経過につきましては次の通りです。

- 5月 市P連役員会において、桔梗小学校が調査委員会事務局を担当。
- 7月 各単Pに調査用紙を配付。  
 「令和2年度教育予算要望調査」開始。
- 8月 調査用紙の回収と集計作業。
- 10月 「調査結果報告書」を作成、完成。
- 11月 市P連役員会にて重点要望事項について承認をいただき、要望書を作成し、関係機関に発送。Eメールにて、集計結果等も含めて各学校に送信。
- 11月26日 函館市教育委員会教育長室において、市教委3名と市P連4名で、教育予算要望に係る懇談会を開催。

ご協力いただきました、各単Pの皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

なお、令和2年度教育予算要望については、以下の通りです。

<p>【施設や設備に関する教育環境への整備・充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 網戸の設置</li> <li>② 校内樹木の剪定</li> <li>③ 校舎修繕</li> <li>④ 校内遊具</li> <li>⑤ 体育館の整備</li> <li>⑥ 学校運営関係費等の増額</li> <li>⑦ プール環境の整備</li> <li>⑧ 校地内の整備</li> <li>⑨ グラウンドの整備</li> <li>⑩ 調理室の修繕・整備</li> <li>⑪ 洋式トイレの増設</li> <li>⑫ 砂場の全面改修</li> </ul>	<p>【安全・安心に学校生活を送るための環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 通学路安全対策</li> <li>② 災害等安全対策</li> </ul>	<p>【教育・文化発展のための予算増額】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 鑑賞教室等の助成</li> <li>② 公共施設への無料バス</li> <li>③ 公共施設使用料減額</li> </ul>	<p>【P T A活動をより活性化するための助成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 研究大会への補助</li> <li>② 研修会等への助成</li> </ul>	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 特別支援教育支援員又は教員の増員</li> <li>② 玄関のオートロック化</li> <li>③ S C (スクールカウンセラー)</li> <li>④ S S W (スクールソーシャルワーカー)の配置</li> </ul>
---	--	--	--	---



### 今、PTAでは…

本校は、函館市内唯一の小中併置校で、令和二年度には、小学校創立一二〇周年、中学校創立六〇周年を迎えます。

函館の市街地からやや離れており、豊かな自然環境に囲まれています。しかし、時代の流れとともに、二〇戸弱が点在する過疎地域となり、PTA役員は同窓生や地域の方々にも引き受けていただき、昨年度から導入したコミュニティ・スクール(学校運営協議会)と一体となった活動を行っています。「校地の樹木剪定や藤棚・看板設置」「冬期間の除雪作業」「大山祇神社清掃・祭典」「エコボラ活動(エコキャップ回収)」「各種行事への参加」など、地域とともに歩む学校の姿として、密接な連携を保ちながら、互いの信頼関係を築き上げています。



藤棚・看板設置作業

函館市立鱒川小中学校PTA

### 「地域とともに」

函館市立北昭和小学校PTA

### 「みんなが参加しやすいPTA」



子ども祭り～ストラックアウト～

みんなが参加しやすいPTAを合い言葉に、会員の負担軽減と活動の質的な充実を目指し、委員会再編と参加体制見直しを行いました。

そして、学級委員会の学級レクレーションでのふれあい活動、校外生活委員会のマモレンジャージャンパー着用による登下校時の見守り活動、環境委員会の花壇整備や運動会後のトイレ清掃、研修広報委員会の給食試食会、単P研修会の実施、広報紙「ぼぶら」の発行を三役のサポートにより行っています。

また、実行委員会により、縁日をテーマに「子ども祭り」を実施し、保護者による手作り品販売や体験型イベントなど、子どもたちが楽しめるような工夫をしました。

### 「みんなが協力PTA活動」

函館市立中部小学校PTA



中部ふれあい広場の様子

私たち中部小学校PTAは、全ての会員が学級研修委員と保体安全委員のいずれかに所属し、一年間の行事に関わっております。

その中でも特に大きなものは、毎年八月末の日曜日に開催する「中部ふれあい広場」です。二ヶ月前から実行委員会を立ち上げて計画作りを進め、当日は地域の方々をお招きして盛大に行いました。各学年によるバザー、会場全体で行うビンゴゲーム、巴中学校吹奏楽部による演奏など、会場全体で盛り上がることができました。

その他にも、グラウンドの草取り、花壇への花苗植え込み、地域商店街等への協力を呼びかけたベルマーク回収運動をしています。

全ては子どもたちの笑顔のために、を motto に、今後も活動の充実を図っていきたく考えています。

### 「新生 大森浜小学校PTA」

函館市立大森浜小学校PTA



PTA総会の様子

昨年度から大森浜小学校統合準備委員会でPTA活動について話し合い、本年度から大森浜小学校PTAとして活動してきました。

四月のPTA総会では、二百名を超える方々が参加し、充実した会になりました。

「できる人が できる事を できる時に」の理念のもと、「学級、花壇、運動会、安全・挨拶、読み聞かせ、ベルマーク、研修」のサポートに会員が参加し、取り組んでいます。

また、CSと連携を深め、子どもの登下校の安全を見守る「見守り隊」や地域と保護者と児童と一緒に楽しく学ぶ「大森浜教育の日」を設定し、活動することができました。

今後も改善をしつつ、CSと連携し、よりよい活動を目指して頑張りたいと思います。

今、PTAでは…

「笑顔いっぱい 魅力いっぱい」  
絆を深めるPTA活動」

函館市立大船小学校PTA



校庭を彩る花いっぱい運動

大船小学校PTAは「父母と先生が協力して、家庭・学校・地域における児童の健全な成長を図ること」を目的に活動を行っています。世帯数減少のため、2つあった専門委員会を廃止しました。これにより、これまで以上に全世帯が結束し合いPTA活動が活気に溢れてきました。

町会の協力を得て行う花いっぱい運動では、保護者・児童・教職員で花壇整備に一緒に汗を流して互いの絆を深める活動になりました。令和3年度末で閉校となる本校ですが、子どもたちの胸に本校での楽しい思い出を深く刻み、母校や地域を誇ることが出来る活動を目指していきます。

「子供のための  
よりよい活動を目指して」

北海道教育大学附属函館小学校PTA

附属小学校PTAではこの度、組織の再編を行い、今年度から総務、すくすく安全部、いきいき交流部、きらきら販売部、わくわく図書部、ぴかぴか環境部の体制としました。

新体制の下、例えば新設の図書部では、ボランティアに頼っていた図書整備の作業を組織的、計画的に進めており、子供の読書環境の改善を目指しています。情報の収集や発信の方法も見直し、メールの一斉配信システムやフォーラムを活用した出欠席や意見の集約、廃止した広報紙にかえて学校Webサイトを活用した情報発信を進めています。

これからも会員一人一人のご理解と活動へのご尽力に感謝を表しながら、見守り活動、環境整備等の形で子供のための活動を展開してまいります。



「図書整備活動」の様子より

「子どもたちの笑顔のため  
保護者どうしのつながりを大切に」

函館市立柏野小学校PTA



「柏っ子まつり」の様子

本校PTAは、子どもたちの豊かな心身の健全な育成を目指し、活動しています。会員は、四つの委員会（親睦・安全指導・広報・生活環境）とバザー（柏っ子まつり）の実行委員会のどれかに所属しています。

活動にあたっては、子どもや保護者のニーズに合わせて活動内容を見直したり、家でもできる仕事を留意したりと、無理なく楽しく取り組めるように工夫しています。「柏っ子まつり」では、ゲームコーナーや縁日コーナー、パン食い競争やフリーマーケットなど、子どもたちだけでなく大人や地域の方も楽しめる内容で開催することができました。今後、みんなが楽しめるPTA活動を工夫していきたいと思えます。

「無理なく、楽しく、支え合う」  
をモットーに

函館市立深堀中学校PTA

深堀中学校PTAは、学年委員会、広報部、研修部、生活部で組織し、子どもたちの健全な成長のために、保護者と学校職員が協力し活動を行っています。

少子化や会員数の減少により、数年前に役員構成や活動の見直しを行い、モットーにあるように「無理なく」効率的に活動できるように改編を行いました。その分、実のある活動ということで、楽しい内容の広報誌づくり、個人では体験できない講習会等の企画、子どもたちの安全を守る巡視活動に各会員が積極的に参加しています。

今後も、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、地域、学校とPTAが連携し「支え合う」活動に取り組めます。



ネットトラブル防止講演会（函館短大・藤井壽夫教授）

# 今、PTAでは...

本校PTAは、世帯数が19世帯と大変小規模ではありますが、子どもたちの健全育成をめざし、地域や先生方と協力しながら活動しています。今年度も「登校時の安全指導」や「広報誌の発行」をメインに、運動会に向けたグラウンド整備や避難経路の草刈りなど、限られた時間と範囲の中で、小さな組織でもできることから取組を進めています。当初予定していた「ソフトバレー大会」は、諸事情から開催できませんでしたが、授業参観や地域公開事業などの機会に積極的に学校へ足を運んでいます。今後も大幅な会員の増加はありませんが、学校や地域とどのように連携を深めるかを考えながら、子どもたちのために活動していきたいと考えています。



4月の「登校指導」の様子

小さな組織でもできることから

函館市立椴法華中学校PTA



【愛情たっぷり附属キャラメル作り】

附属函館中学校PTAは学校で繰り広げられる日々の教育活動に寄り添い、学校・家庭が連携し、子どもたちのよりよい成長を見守り、「ともに育てる」視点で関わりあうことを大切に展開しています。

主な会の活動は5つの専門部で運営され広報部、研修部、生活環境部、学級部、社会学級部、となります。

各部のオリジナリティあふれる活動で、保護者相互のつながりと確かな情報の共有をはかり、子どもたちの情操を育むサポートをしています。年2回の広報誌の発行や、毎年行われる梧桐祭では、伝統のキャラメル作りを3日間で3000袋作成し販売するなど愛情あふれる活動を行っています。

「ともに育てる」PTA活動

北海道教育大学附属函館中学校PTA

旭岡中学校PTAでは、少子化に伴う会員数の減少や仕事との両立などを踏まえ、無理のない形で「できる時」に「できること」をモットーとして、PTA活動の見直しを図ってきています。

各学年委員会では、授業参観後や長期休業中など開催時期を工夫し、茶話会やPTA親子レクを実施しています。また、研修広報委員会では、会員を講師に現PTAに限らずOBの協力や参加をいただき、「デニム生地を使ったリースづくりを行い、楽しくおしゃべりしながら素敵なリースができました」。

今後も、「自ら学び、行動するPTA」を胸に、無理のない形で保護者と学校が、生徒の健やかな成長を願い、連携を図っていきたく考えています。



研修活動 楽しくおしゃべりしながら、素敵なリース完成

「できる時」に「できること」を

函館市立旭岡中学校PTA

「令和」という元号にも慣れ、早いもので、一年を総括する時期を迎えました。今年も、各単Pの会長をはじめとする役員の皆様、会員の皆様、事務局の校長先生、教頭先生には、市P連の事業にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年度計画しました事業は、先日の新年交流会・表彰式をもちましてほぼ終了し、残す事業は、二月の青函交流会のみとなりました。今年度は、青森へ向うき避難所の運営に関する研修会に参加し、交流を深めてくる予定です。参加は、事務局の他にお忙しい中、市P連役員の方々が参加して下さいます。

ところで、平成から令和のこの一年を振り返りますと、五月の定期総会に始まり、同月の広報活動研修会、六月のPTA会長研修会及び交流会、九月の研究大会、十月の第三ブロック連絡会、同月の札幌全道大会、十一月の母親研修会、同月の予算要望書の提出そして一月の新年交流会及び表彰式、さらには、その間、役員会議の開催やPTA広報の発行等々、年間通して隙間なく事業が推進されてきました。当然、事業の前には計画が立てられ、それをもとに協議し、決定し、そして推進され、開催後は反省をまとめ、次年度への改善点を探るという流れになるわけで、これを担う各ブロックの事務局の大変さは計り知れません。本当に頭の下がる思いです。

事務局は、自校の事業に加えての市P連の活動となるので、本当に大変かと思いますが、こんな声も耳にします。「推進に関わることで市P連の活動がなかった」、「新たな人間関係を築けた」、「また他のPTAが取り組んでいる活動を知ることが出来た」など。函館市PTA連合会には長い歴史があります。苦勞があっても、喜びや楽しみもある活動と考え、今後ともご協力いただければ幸いです。

函館市は、小学校・中学校の統廃合が進められています。小中一環の義務教育学校も出来ます。子どもたちが少なくなり、学校も少なくなり、寂しい気もしますが、子どもがいる限り、子どものために何かしようとする親がいます。その活動を支え、組織としての体制を整えていくことが、今後の市P連の大きな役割とも考えています。

PTAのあり方について議論される機会が多くなる昨今ですが、未来ある子どもたちのために、親として、大人として出来ることを考え、見つけ、行動に移していきたいものです。来年度も、ご協力をよろしくお願いたします。

「ご協力に心より感謝！」

函館市PTA連合会

事務局長 林 潤子

# いよいよ開催！函館大会

一昨年より、会員の皆様にお知らせしておりました全道大会「函館大会」が、いよいよ令和二年十月三日(土)・四日(日)の両日開催されます。

大会内容については、福田実行委員長(巴中P会長)を中心とする実行委員会の中で検討し、現在役割分担を終えたところです。今後は、今年度のブロック委員会を軸とした各部会で推進していただくこととなります。

ところで、函館大会について「開催日も知らないし、何をすれば良いのか分からない」「情報不足」という声を耳にしました。総会や研究大会等での説明、事務局だよりでの告知でよしとしていましたが、まだまだPR不足と反省しているところです。一月末の、札幌市P T A協議会との引き継ぎ会議後、具体的な内容について再度お知らせします。何より推進の原動力となるのは、函館市P T A連合会の会員の皆様です。大会へ参加をしていただくとともに、大会を支える運営者としてご協力をいただければ幸いです。

役割分担は次の表の通りとなっております、担当内容を一部記載しました。また、担当内容を一部入れ替えることもありますので承知おき下さい。担当は、今年度のブロックで割り振りましたので、令和二年度のブロック事務局と混乱しないよう、進めて参りたいと思います。

ブロック	担当	担当	内容
1	接待・受付部	分科会・懇親会受付・救護	
2	研究部	要項・集録作成・分科会・記録	
3	広報部	速報・報道関係	
4	会場部	会場設営・表示等作成	

他に各分科会のグループ討議の司会を担当する予定です。

大会参加費は、四千円、懇親会費は五千円です。出費がかさみますが、ご協力をよろしく願います。なお、参加案内を早めに行い、参加者を決定した後、大会運営を進めていきたいと思えます。函館からの参加は、百五十名ほど見込んでいます。

四月には、各単Pでは総会が開かれると思いますので、是非、令和二年度の予算に、函館大会への参加を組み入れていただき、ご参加いただければ幸いです。よろしく願います。

# 受賞 おめでとう！

一月十日、新年交礼会に先立ち、表彰式を行いました。

団体表彰及び個人表彰は、函館市P T A連合会の役員として、会議や他団体の活動に積極的に参加し、活動された方々の中から、表彰規定の通り、表彰委員会で審議し、決定されます。

今年度は、次の方々が受賞されました。これまでのご尽力に対し感謝するとともに心よりお祝いを申し上げます。おめでとうございます。

賞	学校名	代表
団体賞	函館市立大森浜小学校	P T A会長 小林 庸一
	函館市立北昭和小学校	P T A会長 鳥谷部 浩匡
	函館市立北日吉小学校	P T A会長 小野田 府
	函館市立桔梗小学校	P T A会長 館山 大樹

表彰状	賞	
	前役職	氏名
副会長	竹内 岳	前函館市立五稜郭中学校
	相馬 礼子	前函館市立中部小学校
	加賀屋 文代	函館市立湯川中学校
	豊田 美智代	函館市立湯川中学校

賞	前役職		氏名		所属	
	母親委員	濱 雪子 <td>函館市立石崎小学校</td>	函館市立石崎小学校			
感謝状	母親委員	板東 成美	函館市立深堀中学校			
	母親委員	水尾 励子	函館市立深堀中学校			

賞	学校名	代表
優良P T A文部科学大臣表彰	函館市立あさひ小学校	P T A会長 今在 景子

# 編集後記

◆令和元年度の「P T Aはこたて」の発行も、市P連事務局をはじめ、各学校P T A、関係者の皆様のご協力のもと、滞りなく終えることができました。何かとお忙しい中、原稿を執筆してくださいました皆様には、心より感謝申し上げます。

さて、今年度は北日吉小学校が市P連広報委員会の事務局を担当させていただきました。市P連では、小中学校の統合に伴いブロック編成、各委員会・担当のローテーション等、様々な部分で見直しをしてみました。広報委員会では、ブロックをさらに3つに分けて担当校を決め、広報誌を発行してきました。少子化や財政面などで生じてくる課題もありますが、干渉会長を中心に、子供たちのために、よりよい教育環境の充実を目指したP T A活動の様子を「P T Aはこたて」で紹介することができました。

会報の業務に携わることができたおかげで、各単Pの皆様と様々な連絡・連携をしていく中で、子供を通しての熱い思いや情熱を感じました。函館市P T A連合会のますますの発展を祈念いたしまして、任を終えさせていただきます。本当にありがとうございました。

(第128号担当 深堀小学校)  
(広報委員会事務局 北日吉小学校)